

世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済

物理, 化学, 生物 問題

はじめに、これを読みなさい。

- この問題冊子は133ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。各科目のページ数は以下のとおりである。必要な科目を選択して解答すること。

世界史B	1ページから 21ページ
日本史B	22ページから 34ページ
地理B	35ページから 57ページ
政治・経済	58ページから 77ページ
物理	78ページから 93ページ
化学	94ページから 111ページ
生物	112ページから 133ページ

- 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して、確認すること。
- 問題文の中で、国名、地域名、企業名については略称、通称も用いている。
- 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。次に「解答科目マーク欄」にマークし、「解答科目名記入欄」に解答する科目名を記入すること。マークされていない場合、または複数の科目にマークされている場合は、この时限の科目は採点対象外とする。
- 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークすること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
- 1つの解答欄に、2つ以上マークしないこと。
- 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
- 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しきずを残さないこと。
- 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
- 解答用紙はすべて回収するので、持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題冊子は、必ず持ち帰ること。
- 試験時間は、60分である。
- マーク記入例

良い例	悪い例

125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
849
850
851
852
853
854
855
856
857
858
859
859
860
861
862
863
864
865
866
867
868
869
869
870
871
872
873
874
875
876
877
878
879
879
880
881
882
883
884
885
886
887
888
889
889
890
891
892
893
894
895
896
897
898
899
899
900
901
902
903
904
905
906
907
908
909
909
910
911
912
913
914
915
916
917
918
919
919
920
921
922
923
924
925
926
927
928
929
929
930
931
932
933
934
935
936
937
938
939
939
940
941
942
943
944
945
946
947
948
949
949
950
951
952
953
954
955
956
957
958
959
959
960
961
962
963
964
965
966
967
968
969
969
970
971
972
973
974
975
976
977
978
979
979
980
981
982
983
984
985
986
987
988
989
989
990
991
992
993
994
995
996
997
998
999
999
1000



世 界 史 B

(解答番号 1 ~50)

[I] 次の文章を読み、下記の問い合わせに答えなさい。

戦国時代から中国史料にその活動が記録される騎馬遊牧民の (ア) は、現在のモンゴル高原付近に勢力を有していた。彼らは前 221 年に戦国諸国を滅ぼして統一を果たした秦(1)によって、一時的に北方に追いやられるが、前 3 世紀末に冒頓が单于(君主)(2)となると勢力を拡大し、遊牧国家を建設した。中国史料によれば、彼らは「安息」などの国々へも使者を派遣していたことがわかる。漢の武帝(3)は、前 2 世紀に中央アジアへ追われた月氏(4)と同盟し、東西から (ア) を攻めようとして張騫を派遣した。なお紀元 1~3 世紀にかけて中央アジアから西北インドを支配したクシャーナ朝(5)は、月氏と何らかの関係があると考えられており、中国史料では「大月氏」と称される。

こののち、2 世紀半ばごろ、モンゴル高原の支配勢力は (イ) にかわる。彼らは中国において 4 世紀初頭からはじまる五胡十六国時代(6)の主要な勢力の一つとして活躍し、この (イ) の一部である拓跋氏が、中国南北朝時代の北魏(7)をはじめとする北朝とその後の隋・唐王朝の成立に深く関与し、中国史に大きな影響を与えた。一方で、5 世紀ごろからモンゴル高原~天山東部までを支配したのが (ウ) である。 (ウ) は支配下に置いていた (エ) によって、6 世紀中ごろに滅ぼされた。

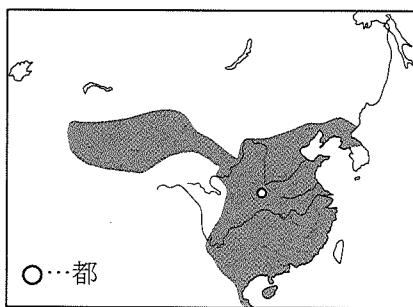
(エ) も強大な勢力を誇り、最盛期には中国の北周・北齊が彼らに対してそれぞれ物資を送り、歓心を買うことにつとめた。そのため、その君主が「わが国の南方の二児(= 北周・北齊のこと)が自分に孝順でいる限り、物資欠乏の心配などあるだろうか」と豪語したといわれるほどであった。しかし、広大な領域を統治するために置かれた地方君主の独立性が高いなど、統一を維持していく点ではもろい面があり、隋(8)のころ、583 年にモンゴル高原を中心とした勢力と中央ア

ジアを本拠地とした勢力の東西に分裂した。なお、このような遊牧民の活躍と深くかかわっていた民族がソグド人であり、彼らは古くから中国にも姿を見せていました。その後、内陸アジア世界はイスラーム化に向かうこととなる。

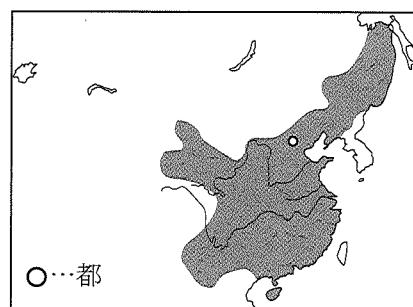
一方、内陸アジア世界から西方に移動した遊牧民といわれる勢力が、ヨーロッパの歴史に登場する。その例としては、4~5世紀にかけてゲルマン民族の移動の要因となったとされるフン人⁽¹¹⁾や、カール大帝(シャルルマーニュ)⁽¹²⁾が撃退した勢力などがあげられる。

問 1 下線(1)に関連して、秦の最大領域を示した図として、もっとも適切なもの
を一つ選びなさい。 1

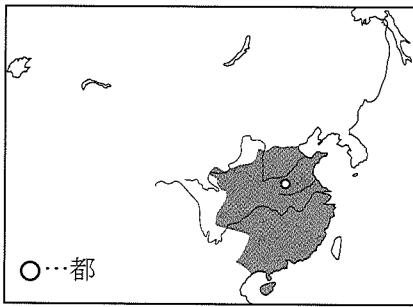
A



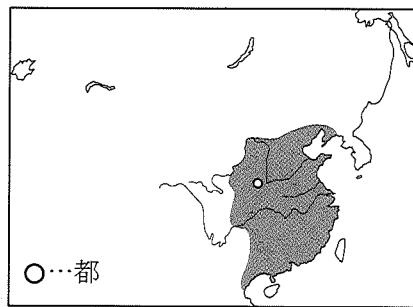
B



C



D



問 2 下線(2)の单于にかわって用いられるようになった、騎馬遊牧民の君主の称号として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 2

- A. カリフ B. カガン C. シャー D. アミール

問 3 下線(3)の安息が指す王朝として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

3

- A. ササン朝ペルシア B. アケメネス朝ペルシア
C. アルサケス朝パルティア D. アンティゴノス朝マケドニア

問 4 下線(4)に関連して、前139年に滅んだ中央アジアのギリシア系国家はどれか、一つ選びなさい。 4

- A. バクトリア B. 大宛(フェルガナ)
C. コーサラ国 D. 鳥孫

問 5 下線(5)に関連して、クシャーナ朝と仏教との関係についての説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 5

- A. バクティ運動が盛んになり、仏教やジャイナ教が衰えた。
B. カニシカ王の時期に仏教が保護され、第4回仏典結集が行われた。
C. アショーカ王の時に、各地に仏教を布教した。
D. ハルシャ王のときにナーランダー僧院が創建された。

問 6 下線(6)に関連して、五胡と総称される諸民族が中国で活躍するきっかけとなつた西晋の内乱として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

6

- A. 三藩の乱 B. 吳楚七国の乱
C. 靖難の役 D. 八王の乱

問 7 下線(7)に関連して、下記の北魏についての説明中、正しいものを一つ選びなさい。 7

北魏の皇帝の中で、太武帝は仏教に帰依して道教を弾圧したことで知られる。また、A孝文帝は兩税法と三長制を施行した。一方で、B彼が行った漢化政策に反発する人々を生み出した。この人々により、C黄巾の乱と呼ばれる大規模な農民反乱が起こされた。

問 8 下線(8)に関連して、隋の政策としてもっとも適切なものを一つ選びなさい。 8

- A. 服属諸民族の居住地域である藩部を管理する理藩院を設置した。
- B. 鄉挙里選による官僚登用にかわり、九品中正を採用した。
- C. 江南地域と華北とを結びつけるため、大運河を建設した。
- D. 中書省を廃止して、六部を皇帝に直属させる改革を実施した。

問 9 下線(9)に関連して、下記のソグド人についての説明中、誤りを含むものを一つ選びなさい。 9

ソグド人の本拠地はAアム河・シル河に挟まれた地域であり、Bその中心都市として有名なのはサマルカンドである。彼らは中継貿易に従事するとともに、遊牧国家においては外交面でも大きな役割を担った。文化的にはCマニ教を東方に伝えたほか、また彼らのアラム系のソグド文字はD西夏文字に大きく影響を与えた。

問10 下線(10)に関連して、9世紀に中央アジアに成立したイラン系王朝として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 10

- A. ガズナ朝
- B. カラハン朝
- C. トゥールーン朝
- D. サーマーン朝

問11 下線(11)に関連して、451年にフン人の王アッティラを西ローマとゲルマン人の連合軍が破った戦いとして、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

11

- A. ヘースティングズの戦い
- B. ニハーヴァンドの戦い
- C. カタラウヌムの戦い
- D. レヒフェルトの戦い

問12 下線(12)の勢力として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

12

- A. アヴァール人
- B. フИН人
- C. マジャール人
- D. ブルガール人

問13 空欄(ア)～(エ)に入る語句の組み合わせとして、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

13

- A. (ア)突厥・(イ)鮮卑・(ウ)匈奴・(エ)契丹
- B. (ア)匈奴・(イ)柔然・(ウ)鮮卑・(エ)ウイグル
- C. (ア)突厥・(イ)契丹・(ウ)柔然・(エ)エフタル
- D. (ア)匈奴・(イ)鮮卑・(ウ)柔然・(エ)突厥

[II] 次の文章(A)～(D)を読み、下記の問い合わせに答えなさい。

(A) この世紀は、ヨーロッパが他の世界からの侵入に驚愕する時代であった。その世紀半ば、ローマ法王の使節としてフランチエスコ会修道士プラノ＝カルビ⁽¹⁾三が、かつてのルーシ(古代ロシア)の都を通ったさい、頭蓋骨と骨とが数えきれないほど地面に散らばっているのを目にした。以前、ここはキリスト教の教会もある非常に大きく人口稠密な町だったが、その人家はせいぜい200戸あるかないかで、住民はまったくの奴隸状態におちいっていた。

問 1 下線(1)について、この人物が最終目的地として到達した都市はどこか。地

図のA～Lまでの中から一つ選びなさい。 14

問 2 下線(2)に関連して、この町を破壊した人たちによってロシア南部に建てられた国家を一つ選びなさい。 15

- | | |
|--------------|--------------|
| A. クリミア＝ハン国 | B. チャガタイ＝ハン国 |
| C. キプチャク＝ハン国 | D. イル＝ハン国 |

問 3 下線(3)に関連する記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

16

- | |
|------------------------------------|
| A. エカチェリーナ2世が、ビザンツ帝国からキリスト教を受け入れた。 |
| B. ウラディミル1世が、10世紀末にキリスト教を受け入れた。 |
| C. イヴァン4世が、ビザンツ帝国からキリスト教を受け入れた。 |
| D. ピョートル1世が、10世紀末にキリスト教を受け入れた。 |

(B) この世紀の末、クレルモン宗教会議(公会議)⁽⁴⁾で西欧世界は対イスラーム遠征を決定した。この遠征によって、西欧世界はアラビア文化だけではなく、古代ギリシア文化を新たに認識し、これらを翻訳して吸収する状況をも生み出すなど、文化の隆盛をみるとことになった。農業生産力の飛躍的な上昇や人口の増加がこの欠かせない基盤となり、商業・交通の発達および都市の形成も、文化⁽⁵⁾⁽⁶⁾

活動を展開する場とその交流を保証したのである。

問 4 下線(4)に関連する記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

17

- A. インノケンティウス3世が、西ヨーロッパの王や諸侯に対イスラーム遠征を説いた。
- B. この会議で、カタリ派に対する遠征も決定された。
- C. 当時、イエルサレムを支配していたのはセルジューク朝である。
- D. このときの遠征で、ラテン帝国が建てられた。

問 5 下線(5)に関連する出来事として、誤っているものを一つ選びなさい。

18

- A. スコラ哲学の隆盛
- B. 『神学大全』の完成
- C. パリ大学の創設
- D. 『キリスト教綱要』の完成

問 6 下線(6)に関連して、北海・バルト海を中心とする交易都市同盟の盟主として繁栄した都市はどこか。地図のA～Lまでの中から一つ選びなさい。

19

- (C) この世紀の末、イベリア半島では、数世紀にわたり行われてきたキリスト教徒によるイスラーム教徒に対する駆逐運動⁽⁷⁾が最終段階に達していた。この動きは、レオン・カスティリヤ・アラゴンなどのキリスト教諸国によって北方から南に向かい、同地方最後のイスラーム王朝⁽⁸⁾の君主が、カスティリヤ王国軍にそこの首都⁽⁹⁾を明け渡したことにより完遂されたのである。

問 7 下線(7)に関連した記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

20

- A. 9世紀初め、イスラーム教徒が西ゴート王国を滅ぼした。
- B. 12世紀には、ポルトガルがアラゴンから独立した。
- C. 12世紀後半、キリスト教勢力が半島の北半分をほぼ制圧した。
- D. 13世紀後半、ノルマンディ公国の騎士たちが南イタリアとシチリア島を征服した。

問 8 下線(8)について、正しいものを一つ選びなさい。

21

- A. 後ウマイア朝
- B. ムワッヒド朝
- C. ナスル朝
- D. ムラービト朝

問 9 下線(9)に関連して、その首都はどこか。地図のA～Jまでの中から一つ選びなさい。

22

(D) この世紀後半、マルコ＝ポーロは旅の途中で東洋と西洋の交差点とされる都市を通過した。⁽¹⁰⁾この都市の街路は、幅が狭く、キャラバン隊の市場と広場には、ヨーロッパとアジアのいたる所からやって来た人々がひしめき合い、いろいろな言葉で商いをしていた。街路にはアフリカ人、タタール人、エジプト人、トルコ人、ユダヤ人、アルメニア人が歩いていた。ここは、⁽¹¹⁾東方キリスト教の大聖堂を中心として、その盛んな貿易によって世界のあらゆる民族と種族の商人を引き付けていたのである。

問10 下線(10)に関連した記述として、彼の生きた時代の出来事と異なるものを一つ選びなさい。

23

- A. モンテ＝コルヴィノが、大都に派遣された。
- B. ウマル(オマル)＝ハイヤームが、『ルバイヤート』を著した。
- C. フラグが、バグダードを占領した。
- D. イブン＝バットゥータが、中国を訪れた。

問11 下線(11)について、この都市を地図のA～Lまでの中から一つ選びなさい。

24

問12 下線(12)に関連した記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

25

- A. レオン(レオ)3世が、聖像禁止令を発布した。
- B. この教えは、「ローマ法大全」によって確立した。
- C. シャルトル大聖堂が、この影響下で建設された。
- D. 西スラヴの世界は、この教えを受け入れた。

問13 (A)～(D)の記述内容を時代順に並べたものとして、もっとも適當なものを一つ選びなさい。 26

- A. (A)→(B)→(D)→(C)
- B. (A)→(D)→(B)→(C)
- C. (B)→(A)→(D)→(C)
- D. (B)→(D)→(A)→(C)



[Ⅲ] 次の文章を読み、下記の問い合わせに答えなさい。

ある歴史家はヨーロッパの18世紀を1688年から1815年までとして「長い18世紀」と呼んでいる。このように実際の暦法上の数字に厳密にこだわることなく、以下ヨーロッパの18世紀を概観してみよう。

まず17世紀の科学革命を引き継ぎ各国で科学アカデミーが設立され、イギリスでは1703年ニュートンがイギリス王立協会会長に就任している。他にもリンネ、ジェンナー、ラヴォワジエ、ラプラースらが画期的な業績を残した。

また18世紀は「啓蒙の世紀」と言われている。特にフランスではモンテスキュー、ヴォルテール、ルソーらが活躍し、1751年にはディドロや (ア) らが編集した『百科全書』の刊行が始まっている。

その一方でヨーロッパの18世紀は戦乱が絶えない世紀でもあった。フランス王ルイ14世がしばしば行った侵略戦争の最後となるスペイン継承戦争は1701年に始まり(3) 13年に終わっている。ロシアのピョートル大帝が (イ) を破った北方戦争は1700年から21年まで続いた。さらにヨーロッパは1740年から48年にかけてオーストリア継承戦争という大規模な戦争の舞台となる。それだけではなく、これらの戦争と並行してイギリスとフランスは北アメリカで植民地争奪戦(5)を行っていた。そしてほとんど休む間もなく七年戦争が1756年に始まった。この戦争で特筆すべきことは長年対立してきたハプスブルク家とフランス王家が「外交革命」により協力関係に転じ、(7) プロイセンと戦ったことである。そしてこの(6) 戦争もまた海外植民地でのイギリスとフランスとの戦争の結果に大きく左右されたのである。

このように相次ぐ戦乱でヨーロッパ経済は疲弊した。その中でイギリスでは高い科学技術をもとに産業革命が始まるが、一方、フランスでは改革が進まず、(8) 1789年フランス革命が勃発する。するとヨーロッパは革命推進のフランスとそれに敵対する諸国との戦争に突入していった。この戦争はやがてナポレオン(10) 戦争に拡大し、1815年のウィーン会議でようやく終結した。

科学技術の進歩、啓蒙思想の発展、相次ぐ戦乱、産業革命、フランス革命、そしてナポレオン戦争等々とヨーロッパの18世紀は実に多様な世紀であった。

問 1 下線(1)の 1688 年はイギリスで名誉革命が起きた年だが、この革命についての記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 27

- A. ジェームズ 2 世はカトリック擁護のために審査法を制定した。
- B. オランダ王ウィレムは革命後ウィリアム 3 世としてイギリス王に即位した。
- C. 1689 年に制定された「権利の章典」はカトリック教徒の国王即位を禁じた。
- D. ウィリアム 3 世の死によりスチュアート朝は断絶した。

問 2 下線(2)に関連する記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 28

- A. イタリアの天文学者ガリレイは異端審問により長期にわたって投獄された。
- B. ドイツの天文学者ケプラーはニュートンの万有引力理論をヒントに惑星運行の法則を理論化した。
- C. 質量保存の法則を立てたイギリスのボイルは「近代化学の父」と呼ばれた。
- D. イギリスの医者ハーヴェーは血液循環説を唱えた。

問 3 空欄(ア)に入る人物を一人選びなさい。 29

- | | |
|----------|-----------|
| A. アベラール | B. ダランベール |
| C. モリエール | D. ラシーヌ |

問 4 下線(3)に関する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

30

- A. ルイ 14 世はスペイン王カルロス 1 世の死去を機に南ネーデルラントからフランドルの一部を獲得した。
- B. ルイ 14 世は南ネーデルラント継承戦争の後、オランダに対して戦争を起こした。
- C. ルイ 14 世が引き起こしたファルツ戦争はアウクスブルク同盟戦争とも言われている。
- D. イギリスはユトレヒト条約により多数の海外領土を獲得した。

問 5 空欄(イ)に入る国を一つ選びなさい。

31

- A. ノルウェー
- B. スウェーデン
- C. デンマーク
- D. フィンランド

問 6 下線(4)に関する記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

32

- A. プロイセン王フリードリヒ 2 世がオーストリア領のベーメンを占領しオーストリア継承戦争が勃発した。
- B. ザクセンはこの戦争の際にイギリスとともにオーストリアに味方した。
- C. マリア・テレジアと敵対したバイエルン公は神聖ローマ皇帝に選出された。
- D. アーヘン条約によりすべての参戦諸国は占領地をそれぞれ返還した。

問 7 下線(5)に関する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

33

- A. ユトレヒト条約によりイギリスはフランスの北米植民地ニューファンドランドを獲得した。
- B. オーストリア継承戦争と並行して北米ではイギリスとフランスとの間でアン女王戦争が起きた。
- C. 七年戦争と並行して行われたフレンチ＝インディアン戦争の結果イギリスは北米の支配権を確立した。
- D. パリ条約によりイギリスはミシシッピ川以東のルイジアナを獲得した。

問 8 下線(6)に関する記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

34

- A. この「外交革命」はフランス王シャルル9世のイタリア侵入により起きたイタリア戦争以来のフランスとオーストリアの対立を解消するものであった。
- B. オーストリアはプロイセンとの対立のためフランスに同盟を呼びかけた。
- C. ロシアのニコライ2世もフランス、オーストリアとともにプロイセンに対抗した。
- D. 同盟関係を結んだオーストリア、フランス、ロシアはポーランド分割を行った。

問9 下線(7)に関する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

35

- A. プロイセンは13世紀にドイツ騎士団を基に、バルト海沿岸に形成された。
- B. プロイセンは1525年、宗教改革を契機に世俗国家プロイセン公国となつた。
- C. プロイセン公国は1618年ホーベンツォレルン家との戦いに敗れ、同家のブランデンブルク選帝侯国に併合された。
- D. ブランデンブルク選帝侯国は1701年スペイン継承戦争を契機にプロイセン王国となった。

問10 下線(8)のイギリスの産業革命に関する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

36

- A. 囲い込みにより土地を失った農民が都市の工場労働者となった。
- B. 中国産木綿の輸入により国内の綿工業が盛んになった。
- C. ニューコメンの蒸気機関はワットのそれにとって代わられた。
- D. 運河時代とそれに続く鉄道時代により流通が整備された。

問11 下線(9)のフランス革命の際に矢継ぎ早に起きた四つの事件【①ヴァルミーの戦い②ヴァレンヌ逃亡事件③8月10日事件④ピルニッツ宣言】の順番としてもっとも適切なものを一つ選びなさい。

37

- A. ②→④→③→①
- B. ④→②→③→①
- C. ①→④→②→③
- D. ③→①→②→④

問12 下線(10)に関する記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

38

- A. 第2回対仏同盟はナポレオンとイギリス首相ピットが結んだアミアンの和約で崩壊した。
- B. フランス皇帝ナポレオンはライプツィヒの三帝会戦でロシア皇帝アレクサンドル1世と神聖ローマ皇帝フランツ2世を破った。
- C. オーストリアはティルジット条約によりフランスに広大な領土の割譲を強いられた。
- D. プロイセンではナポレオンによる軍事的・経済的圧迫に対して改革が行われた。

[IV] 次の文章を読み、下記の問い合わせに答えなさい。

第二次世界大戦の連合国の一員を占めたアメリカ合衆国は、戦前・戦後の国際社会において中心国の一員となった。歴代政権に沿ってその役割を見てみよう。

ローズヴェルト大統領の13年間(在任期間1933年～1945年)は2つの「戦争」の時期と表現することができる。1つが1929年の「暗黒の木曜日」に始まる世界恐慌との「戦争」である。彼はニューディールと呼ばれる一連の政策を展開した。
もう1つの戦争が、1939年に始まる第二次世界大戦における枢軸国との戦争である。彼は戦争中からイギリスの (ア) 首相と大西洋憲章の制定など戦後の国際秩序形成に深く関与した。

(2) ローズヴェルトの急死を受けて政権を担った (①) 大統領(在任期間1945年～1953年)は、第二次世界大戦末期から徐々に顕在化した共産主義諸国との新たな戦い、いわゆる「冷戦」において国内外で反共政策を展開した。しかし、冷戦はアジアにおいては、
⁽³⁾ 朝鮮半島、ベトナムなどにおいて実際の戦争となった。
⁽⁴⁾ ベトナムはインドシナ戦争の後に、(イ) で締結された休戦協定によって南北2つの国に分断された。冷戦はまた、敗戦国日本が1951年に (ウ) で調印した平和条約をめぐる国際会議にも大きな影響を与えた。

しかし、東西世界の対立関係は (②) 大統領(在任期間1953年～1961年)が参加した (イ) 4巨頭会談を1つの契機として変化していった。その1つの背景にはソ連の (エ) 第一書記が平和共存を唱えたことがある。この平和共存路線の採用、いわゆる「雪解け」が社会主义陣営においては国内の改革気運を高めることにつながったが、ソ連は再び引き締め政策へと転換していった。

43歳という若さで大統領に就任したケネディ大統領(在任期間1961年～1963年)は、国内社会に向けては、ニューフロンティア政策を唱えた。しかし、(オ) に社会主义国が誕生し、同国にミサイル基地を建設したことから、アメリカとソ連は急速に対立関係を深め、全世界は、いわゆる「(オ) 危機」と呼ばれる状況に陥った。

彼の暗殺を受けて、大統領に就任した (③) 大統領(在任期間1963年～1969年)は、内政面では「偉大な社会」計画を掲げ、公民権法の成立など一定の成

果を得たものの、⁽⁵⁾ベトナム戦争への本格的な介入によって、アメリカの経済ならびに社会を混乱に陥らせた。

② 大統領時代に副大統領であった ④ 大統領(在任期間 1969 年～1974 年)は、長引くベトナム戦争を終結させ、アメリカ経済の立て直しを図った。その一方で、東アジアにおいては、1972 年に訪中して、(カ) らと会談し、両国間の関係改善を行った。しかし、ウォーターゲート事件によって辞任に追い込まれた。

問 1 空欄(ア)に入るもっとも適切な人名を一つ選びなさい。 39
A. ウィルソン B. イーデン C. アトリー D. チャーチル

問 2 空欄(イ)に入るもっとも適切な地名を一つ選びなさい。 40
A. ロンドン B. ジュネーヴ C. ワシントン D. パリ

問 3 空欄(ウ)に入るもっとも適切な地名を一つ選びなさい。 41
A. サンフランシスコ B. ロンドン
C. パリ D. ワシントン

問 4 空欄(エ)に入るもっとも適切な人名を一つ選びなさい。 42
A. ブレジネフ B. スターリン
C. コスイギン D. フルシチョフ

問 5 空欄(オ)に入るもっとも適切な国名を一つ選びなさい。 43
A. ボリビア B. ベネズエラ C. キューバ D. ニカラグア

問 6 空欄(カ)に入るもっとも適切な人名を一つ選びなさい。 44
A. 毛沢東 B. 劉少奇 C. 蔣介石 D. 鄧小平

問 7 下線(1)に関連して、ニューディールの説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 45

- A. カナダとの間で無関税貿易取り決めを行い、両国の市場を結び付ける措置を講じた。
- B. 政府統制のもとに企業に生産や価格の規制をかけて産業の回復を図った。
- C. 失業者の救済と地域開発を行うミシシッピ川流域開発公社を設立した。
- D. 財政危機に陥ったドイツを救済するために戦債ならびに賠償支払いの猶予措置を講じた。

問 8 下線(2)に関連して、第二次世界大戦後の国際秩序形成の説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。 46

- A. 1944年7月にブレトン＝ウッズ会議が開催され、国際通貨体制を安定化させるために国際通貨基金の設立を決定した。
- B. 1945年2月に開催されたヤルタ会談では、ドイツ降伏後の同国の共同管理などが決定された。
- C. 1945年7月に開催されたポツダム会談では、日本の領土制限、軍国主義の除去などが終戦の条件として提示された。
- D. 1945年10月に設立された国際連合では、アメリカ合衆国、ソ連、イギリス、中華人民共和国、フランスが常任理事国となった。

問 9 下線(3)に関連して、「冷戦」の展開の説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 47

- A. 1947年6月、アメリカはヨーロッパの経済復興を目指し、シューマン・プランを実施した。
- B. 1947年9月、ソ連と東欧諸国は、自由主義陣営に対抗するために、コメコンならびにコミニテルンを結成した。
- C. 1948年6月、アメリカ、イギリスなどが行った通貨改革を契機に東西陣営は対立し、ベルリンは「ベルリンの壁」で東西に分割して管理されることになった。
- D. 1955年4月、東西のいずれの勢力にもくみしない第三の勢力が結集し、インドネシアのバンドンでアジア・アフリカ首脳会議が開催された。

問10 下線(4)に関連して、朝鮮半島の説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 48

- A. 1943年12月、連合国3首脳会談によって、朝鮮独立を取り決めたカイロ宣言が公表された。
- B. 1948年8月、朴正熙大統領が大韓民国初代大統領に就任した。
- C. 1948年9月、金日成が八路軍を率いて、朝鮮民主主義人民共和国を建国した。
- D. 1953年7月、朝鮮戦争に関する停戦協定が締結され北緯38度線で南北の国境が確定した。

問11 下線(5)に関連して、ベトナム戦争の説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 49

- A. 北ベトナムはディエンビエンフーの戦いでアメリカに勝利し、戦争の大勢が確定した。
- B. ホー=チ=ミン率いる南ベトナム解放民族戦線はベトナム社会主義共和国と協力して、社会主義国樹立を目指した。
- C. ゴ=ディン=ジェム率いるベトナム共和国はアメリカの援助を受け、反共政策を展開した。
- D. アメリカは1965年にサイゴンを中心に大規模な爆撃(北爆)を開始した。

問12 本文中の①から④に入る大統領名の組み合わせとしてもっとも適切なものを見なさい。 50

- | | |
|--------------|-----------|
| A. ① アイゼンハワー | ② トルーマン |
| ③ ジョンソン | ④ ニクソン |
| B. ① トルーマン | ② アイゼンハワー |
| ③ ジョンソン | ④ ニクソン |
| C. ① アイゼンハワー | ② トルーマン |
| ③ ニクソン | ④ ジョンソン |
| D. ① トルーマン | ② アイゼンハワー |
| ③ ニクソン | ④ ジョンソン |
| E. ① ジョンソン | ② トルーマン |
| ③ アイゼンハワー | ④ ニクソン |
| F. ① ジョンソン | ② アイゼンハワー |
| ③ トルーマン | ④ ニクソン |